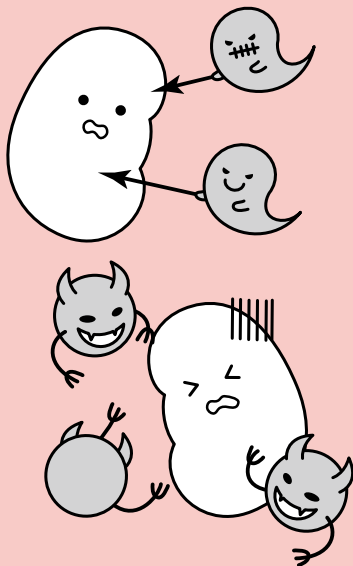


腎臓の状態を知るための検査

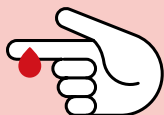
慢性腎臓病（CKD）の検査は、原疾患と尿蛋白、
腎臓が機能している割合で進行度を見ます。



腎臓病を引き起こした原疾患を 見る

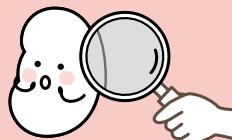
治療の主な目的は、腎臓が弱まるスピードを遅らせることです。具体的には生活習慣の改善や食事・薬物療法の他に、腎臓を弱らせる原因となった病気を特定し、経過を見守りながらしっかり治療することです。

原疾患が
糖尿病の場合



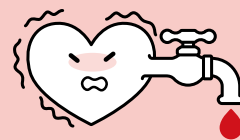
血糖の値や
変化を見る検査

原疾患が
慢性糸球体腎炎の場合

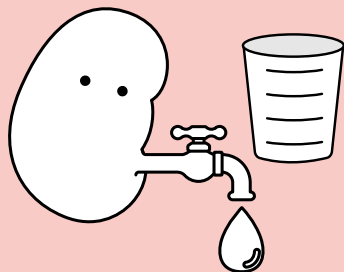


腎臓の機能を見る
あらゆる検査

原疾患が
高血圧の場合

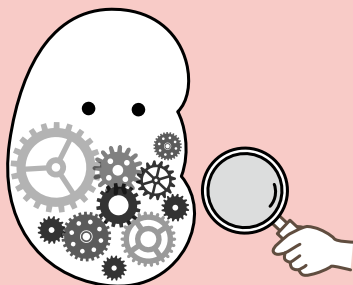
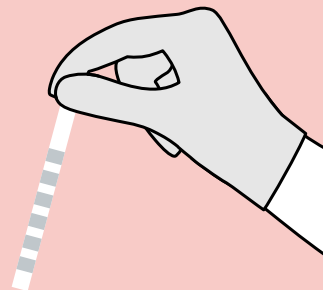


毎日の血圧測定と
高血圧の原因の検査



尿検査を 見る

腎臓病は自覚病状が現れにくいいため、ほとんどの
方が尿検査の結果から知る事が多い、早期発見
のために欠かせない重要な検査です。また、治療
の効果を評価するのにも役立ちます。



腎臓の処理能力（GFR）を 見る

腎臓が老廃物を尿に排泄する能力を示す指標
GFR（糸球体濾過量）には、血液検査のクレアチ
ニンの値と年齢・性別を組み合わせると簡単に
推定するeGFRというものがあります。

日本腎臓内科学会
腎機能測定ツール



※裏面に
早見表が
あります

監修

酒井 謙

東邦大学医療センター 大森病院 副院長 腎センター 主任教授

濱崎 祐子

東邦大学医療センター 大森病院 腎センター 教授

北島 幸枝

日本腎臓代謝研究会、東京医療保健大学 医療保健学部 医療栄養学科 准教授

坂本 杏子

日本腎臓代謝研究会、医療法人惺陽会 札幌ふしこ内科・透析クリニック 栄養部 部長



みんなでつくる、これからの医療

with Kidney プロジェクト

<https://www.jinlab.jp/withkidney/>

患者と医療者がつくった腎臓病とのつきあい方ガイド

運営

一般社団法人
ピーベック<https://ppecc.jp/>

制作

腎臓病情報サイト
「じんラボ」

じんラボ

腎臓病に関わる人の幸せのための
<https://jinlab.jp/>

腎臓の状態を知るための検査

GFR (糸球体濾過値) 早見表

年齢とクレアチニンの値が交わる場所の数字を見てください。その数字であなたの腎臓がどの程度働いているかが分かります。40歳の女性で、クレアチニンの値が0.8の場合、赤枠で囲った63.5mL/分/1.73m²の腎臓の機能がある、ということになります。

単位：mL/分/1.73m²

血清Cr (mg/dL)	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	女性 50歳	55歳	60歳	65歳	70歳	75歳	80歳	85歳
0.60	106.1	99.5	94.5	90.4	87.0	84.1	81.6	79.4	77.4	75.7	74.1	72.6	71.3	70.0
0.70	89.6	84.1	79.8	76.3	73.5	71.0	68.9	67.1	65.4	63.9	62.6	61.3	60.2	59.2
0.80	77.5	72.7	68.9	66.0	63.5	61.4	59.5	57.9	56.5	55.2	54.1	53.0	52.0	51.1
0.90	68.1	63.9	60.6	58.0	55.8	54.0	52.3	50.9	49.7	48.6	47.5	46.6	45.7	45.0
1.00	60.7	56.9	54.0	51.7	49.7	48.1	46.6	45.4	44.3	43.3	42.4	41.5	40.8	40.1
1.10	54.7	51.3	48.7	46.6	44.8	43.3	42.0	40.9	39.9	39.0	38.2	37.4	36.7	36.1
1.20	49.7	46.6	44.2	42.3	40.7	39.4	38.2	37.2	36.3	35.4	34.7	34.0	33.4	32.8
1.30	45.5	42.7	40.5	38.8	37.3	36.1	35.0	34.1	33.2	32.5	31.8	31.2	30.6	30.1
1.40	42.0	39.4	37.4	35.8	34.4	33.3	32.3	31.4	30.6	29.9	29.3	28.7	28.2	27.7
1.50	38.9	36.5	34.7	33.2	31.9	30.9	29.9	29.1	28.4	27.8	27.2	26.6	26.2	25.7

単位：mL/分/1.73m²

血清Cr (mg/dL)	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	男性 50歳	55歳	60歳	65歳	70歳	75歳	80歳	85歳
0.90	92.1	86.4	82.0	78.5	75.5	73.0	70.8	68.9	67.2	65.7	64.3	63.1	61.9	60.8
1.00	82.1	77.0	73.1	69.9	67.3	65.1	63.1	61.4	59.9	58.5	57.3	56.2	55.2	54.2
1.10	74.0	69.4	65.9	63.0	60.6	58.6	56.9	55.3	54.0	52.7	51.6	50.6	49.7	48.8
1.20	67.3	63.1	59.9	57.3	55.1	53.3	51.7	50.3	49.1	48.0	46.9	46.0	45.2	44.4
1.30	61.6	57.8	54.9	52.5	50.5	48.8	47.4	46.1	45.0	43.9	43.0	42.2	41.4	40.7
1.40	56.8	53.3	50.6	48.4	46.6	45.0	43.7	42.5	41.5	40.5	39.7	38.9	38.2	37.5
1.50	52.7	49.4	46.9	44.9	43.2	41.8	40.5	39.4	38.4	37.6	36.8	36.1	35.4	34.8
1.60	49.1	46.1	43.7	41.8	40.2	38.9	37.7	36.7	35.8	35.0	34.3	33.6	33.0	32.4
1.70	46.0	43.1	40.9	39.1	37.7	36.4	35.3	34.4	33.5	32.8	32.1	31.4	30.9	30.3
1.80	43.2	40.5	38.4	36.8	35.4	34.2	33.2	32.3	31.5	30.8	30.1	29.5	29.0	28.5

筋肉で作られる老廃物である血液中のクレアチニンと、年齢・性別を組み合わせ、腎臓が老廃物を排泄する能力を算出します。

これを尿検査の結果と合わせて腎臓の状態を見ます。eGFRが悪くなくても、尿蛋白が出ている場合は医師に相談してください。3ヵ月以内に急激(GFR値30%以上)に腎臓が弱った方も要注意、直ちに医師に相談してください。

GFR値
※表の背景色は「蛋白尿がない場合」で作成

蛋白尿がない場合	60以上	45以上 60未満	45未満
	60以上		60未満

□異常なし ■要経過観察 ■要精密検査

監修 酒井 謙
東邦大学医療センター 大森病院 副院長 腎センター 主任教授

濱崎 祐子
東邦大学医療センター 大森病院 腎センター 教授

北島 幸枝
日本腎栄養代謝研究会、東京医療保健大学 医療保健学部 医療栄養学科 准教授

坂本 杏子
日本腎栄養代謝研究会、医療法人惺陽会 札幌ふしこ内科・透析クリニック 栄養部 部長